

光と活力に満ちあふれる日吉

～一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

みんな元気で笑顔であいさつするまち 日吉
 ひろめよう笑顔たやさず明るいまち 日吉
 新しいとなつかしさが繋がるまち 日吉
 みんなでたすけあい 災害をのりきるまち 日吉
 住んでよかったと思えるまち 日吉

◇主な施設分布状況



◆地区の概況

地区の概況

区の北部にある地区です。地区内には東急東横線日吉駅、市営地下鉄グリーンラインの日吉駅、日吉本町駅があります。共同住宅に住む人の割合が多い地区です。

人口等の特徴

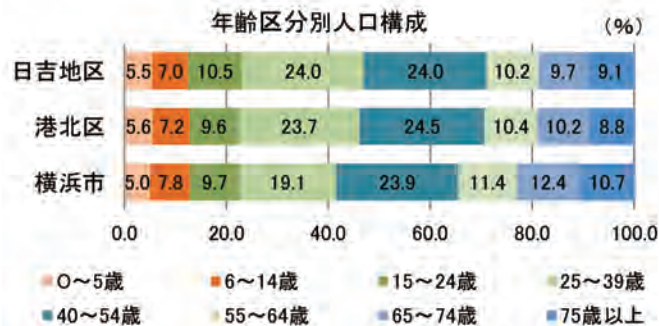
地区全体の人口、世帯数は安定し緩やかに増加していますが、近年は、地下鉄グリーンライン沿線で増加する傾向がみられ、25～49歳が多い年齢構成になっています。平均世帯人員は区の平均より少なくなっています。今後は40～44歳を中心として緩やかなピークになっている人口が順次高齢化していき、転入増加傾向により、20歳代の人口は維持されますが、30歳代の人口は減少していき40～60歳代の人口が順次増加していき。

福祉保健活動の状況

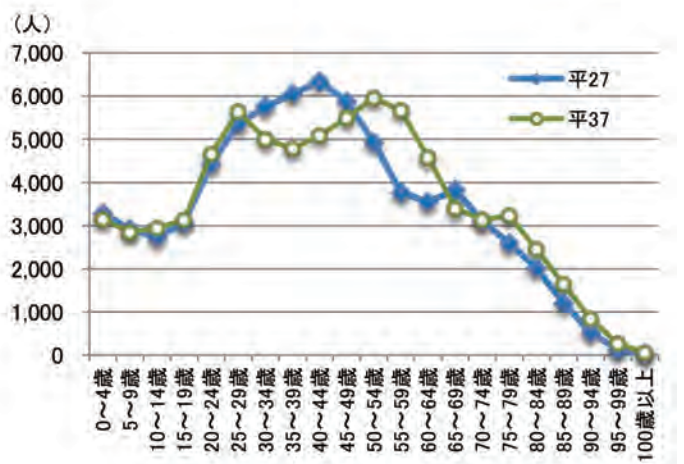
地区全体で災害時要援護者支援の活動に取り組んでいる他、5つのエリア毎に、サロンや居場所の運営、活動情報の発信、家事支援ボランティアなどの活動を行っています。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)

人口 **71,461 人**
世帯数 **35,322 世帯**
平均世帯人数 **2.02 人/世帯 (区平均2.06人/世帯)**



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

地区内にある5つの地域ケア連絡会ごとに「防災」をテーマとして活動しています。災害時要援護者支援に関する取り組みを活動の中心とし、住民同士の顔の見える関係づくりのため、様々なサロン活動や、ホームページ・広報による情報発信などの福祉保健活動を展開しています。

また、年に1度、「光と活力 福祉実践活動発表会」にて各地区が発表することにより、取り組みの共有を行っています。

●地域の現状と課題

日吉地区には子育て世帯が多く暮らしていて、子育て支援の取り組みも活発に行われています。

地区は広大なため、日吉地区全体での共通した取り組みや共有するための工夫が必要です。また、地区活動の担い手の高齢化などが今後の課題となっています。

●今後の方向性

5地区の地域ケア連絡会の場などで、自治会町内会、関係団体・機関が協力して取り組みを進めていきます。交流サロンの活発化、災害時要援護者支援の仕組みづくり、ホームページのタイムリーな更新など既存の活動の充実を目指します。より多くの住民が日常生活の中で顔を合わせる機会を設けることで、災害時での助け合いにもつなげていきます。

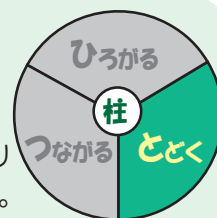
◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

5地区の地域ケア連絡会の他、自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などの関係者で構成する日吉地区「ひとつプラン港北」推進委員会を開催し、日吉地区全体の計画の進捗よく状況の確認、振り返りを行います。

◆具体的な取り組み

災害時に一人でも多くの人助かるよう、要援護者への支援を広げていきます

- 個人情報に配慮した災害時要援護者名簿の整備を続けます。
- 各地域ケア連絡会ごとに、自治会町内会役員や民生委員などが連携し、日頃からの見守り活動など顔の見える関係づくりを行うことにより、災害時要援護者支援の取組を進めます。
- 地域防災拠点や自治会町内会ごとの防災訓練等を通し、自助共助の意識を高めます。
- 災害時に役立つ、自分の住んでいる町を知る「まち歩き」を実施します。



地域ぐるみで安心して子育てができる環境づくりを進めます

- 親子が集える場づくりを進めます。
 - ・子育てサロン等、親子の居場所活動を充実します。
 - ・「ポコ・ア・ポコ」等、ボランティア活動を充実します。
 - ・公園遊びの鯛ヶ崎公園等プレイパークの活動を充実します。
- 子育て支援に関わる情報の発信を継続します。
- 地区の施設との連携を進めます。
 - ・保育園と連携し、子育て世帯の交流の機会をつくります。
 - ・学校やPTAなどと連携したイベントを開催します。



様々な世代が交流する場を充実させ、顔の見える関係づくりを進めます

- 身近な場所で交流できる場づくりを進めます。
 - ・多世代交流サロン「なかよし」、「えんがわの家 よってこ しもだ」等の活動を通じ、住民同士の交流を深めます。
 - ・「障がい児者のよりどころ ふれんど」を開催し、障がい児・者と地域が交流する場、機会を増やします。
 - ・元気づくりステーションや高齢者のサロン等の充実により、気軽に外出、交流しやすい場づくりを推進します。
- ウォーキング等の健康づくり事業の開催を通じて地域のつながりを深めます。



必要な人に必要な支援が届く仕組みづくりを進めます

- 生活課題に応じた助けあいボランティアの活動を進めていきます。
- 必要な人に支援が届くように、地域ケアプラザ等の相談機関と活動団体等が連携し取り組みます。



活動が理解され、参加につながるよう情報を発信していきます

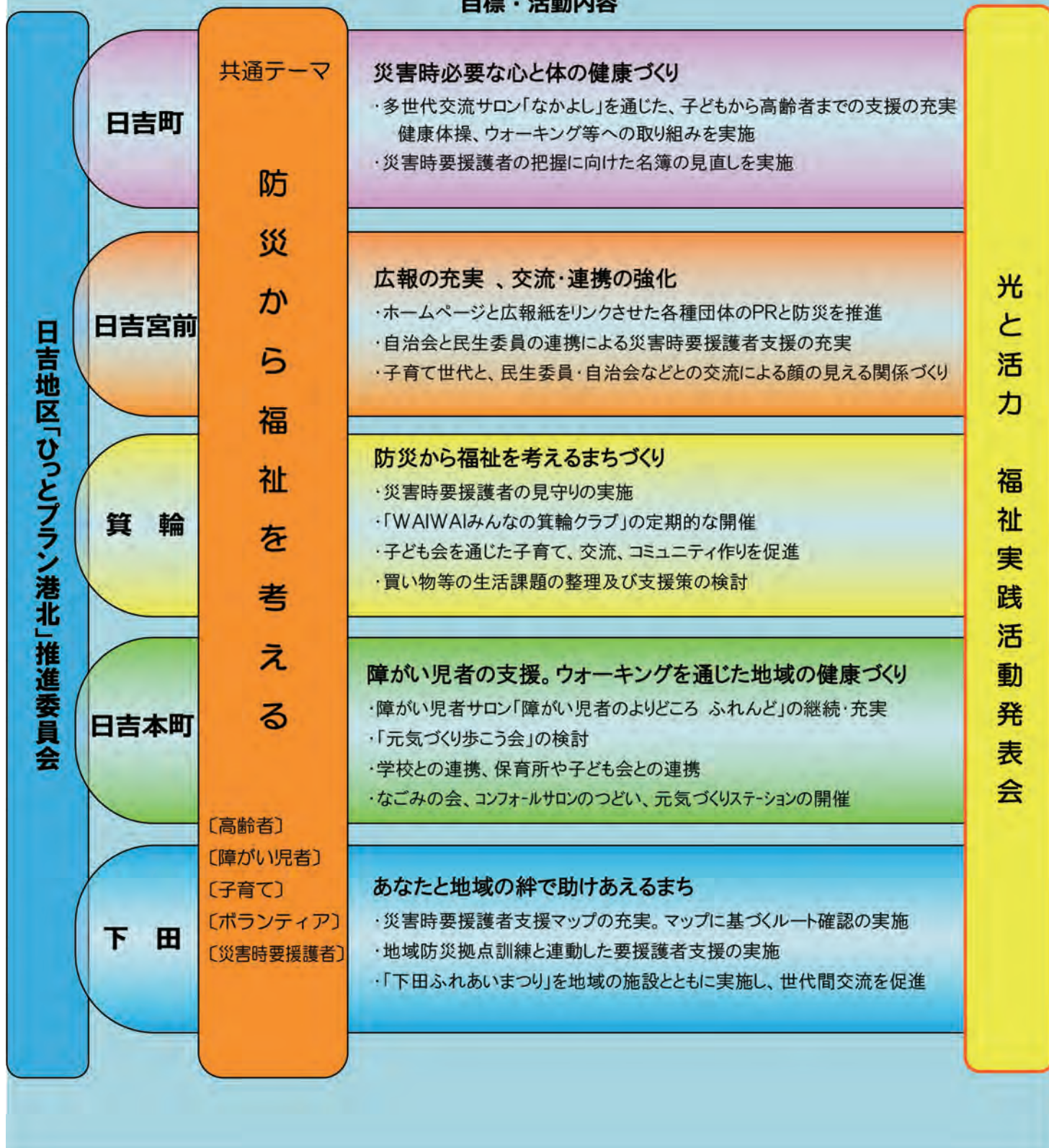
- 身近な情報を迅速に伝えることができるよう、ホームページの充実を図ります。
- 住民一人一人に確実に情報が届くよう、親しみやすい広報紙の作成をします。
- 地区の情報を積極的に発信していきます。
- 日吉地区全体が一つになり、情報共有やお互いの活動が見えやすく、福祉保健活動のネットワークづくりが推進できるよう、「光と活力 福祉実践活動発表会」の開催を継続していきます。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



5地区の地域ケア連絡会ごとの取組目標と活動内容



● 地区の活動に関する問い合わせ ●

下田地域ケアプラザ

TEL 045-563-9081 FAX 045-563-9083

日吉本町地域ケアプラザ

TEL 045-566-0360 FAX 045-566-0362

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp